

* 東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料—その 1—

東京天文台は 1978 年に創立 100 周年記念式典を挙行了。それは 1878 年に東京大学観象台が設置されたことを基にしている。100 年にわたる資料がきちんと残っていることは非常にまれである。アーカイブ室を始めた筆者も東京天文台 100 周年記念誌の資料がどのような形でどこに残されているか知らなかった。こういったものはアーカイブということが組織として確立されきちんと残される以前は庶務課、総務課のようなところに残されていくのであろう。東京天文台は 1888 年に東京大学観象台、海軍省観象台、内務省地理局観測課天象部の 3 者が合併し、海軍省観象台の地に発足しているが、東京大学の流れをくむものは、1878 年の東京大学観象台設置をもって東京天文台発祥としている。

しかし、東京大学の前身に大学天文台が創設されたのは明治 3 年 (1870 年) のことであるが、この時は東京大学の前身、開成学校が大学南校に改編し理科過程に星学を含めた際、本郷に学生の天文観測練習用として設置されたものである。東京大学が東京開成学校と東京医学校が合併し創立されたのは明治 10 年 (1877 年) のことであった。このことから東京大学東京天文台の始まりは 1878 年の東京大学観象台設置をもって「東京天文台の始まり」としたのであろう。これでも東京大学の創設までをきちんと追えていないのである。東京大学になるまでにその前身は複雑な経緯をたどり 1877 年に東京大学になったのである。

このようなことが書けたのも、今回、東京天文台 100 周年記念誌の資料を目にできたからであった。国立天文台図書室は、現在は天文情報センターに所属しているが、以前は事務部に所属していた。そのために 100 周年記念誌の資料が図書室の貴重書庫にあったことは当然なのであろうが、その貴重な資料の引き継ぎが系統的に行われなかったようだ。とにかく今回、東京天文台 100 周年記念誌の資料がアーカイブ室のもの目に触れたことを機に国立天文台 200 周年記念誌を発行する際にも有効に役立つようアーカイブさせていただきたいと思っている。資料は段ボール箱 3 個である。たったそれだけしかないことが不思議でもある。まずは、資料のリストの作成から始めた。今回は 1 個目の段ボールの中にあつたもののリストを作成した。

東京天文台 100 周年記念誌 資料リスト その 1

非常に重要と思われるのは朱筆にした。

- 1) 東京大学要覧 (自昭和 40 年度 至昭和 41 年度)
- 2) 気象研究所三十年史 (昭和 52 年 3 月 : 気象研究所) 東京天文台昭和 52 年 6 月 7 日受け入れ印がある。東京天文台図書 45/K/ /東京天文台のラベルがある。
- 3) ii) 岡山天体物理観測所の項の原稿 : 差し替え前の原稿 38 枚、おそらく山下泰

正氏が書いたもの

- 4) 第10回東大百年史編集委員会議事抄録(1981年7月7日) 同じもの2枚
- 5) 東京大学百年史資料編目次(案) 昭54・6・18
天文台編纂委配布資料「資料編に収録予定の部局史関係資料:54・6・18」
上記の項目に対応する資料表(案)
- 6) 東京大学用箋に書かれたメモ書き3枚
- 7) 東京大学用箋に書かれたメモ1枚(大正13年~大正15年の動向のようなもの)
- 8) 東京大学用箋に書かれたメモ1枚:1947年3月~7月の会議メモのようなもの
- 9) 東京大学史史料目録4、内田祥三史料目録(昭和53年3月 東京大学百年史編集室)
- 10) B4版コピー5ページ:資料 科学史研究第16号「現代日本科学技術史年表-天文学 島村福太郎」、
B4版コピー3ページ:書評「George SARTON: The Life Science, Essays in the History of Civilization.」(Henry Schuman, New York, 1948)
B4版コピー5ページ:資料 科学史研究第17号「現代日本科学技術史年表-天文学(II) 島村福太郎」
- 11) B4を2つ折りにしたコピー12枚:東京大学百年史 通史 第一巻(稿)
昭和54年6月18日
- 12) B5版レポート用紙メモ:1981年7月7日 会議室において
- 13) 第4回東大100年史編集委員会議事抄録(1980年6月2日 於輪講室)
- 14) 20年の歩み 天文博物館 五島プラネタリウム 冊子
- 15) B4版コピー2枚:第31章 東京天文台 昭和29年5月1日現在の職員のページがある。(台長:萩原雄介、教授:辻光之助、宮地政司、藤田良雄、広瀬秀雄、野附誠夫、熊谷寛夫、畑中武夫、助教授:大沢清輝、末元善三郎・・・)
- 16) 自然科学と博物館第44巻・第3号1977年、国立科学博物館開館100年
- 17) 東大100年史 編集委員会 議事抄録(1977年6月30日)出席者:赤羽、内田、古在、高瀬、光田、このコピー2枚、第2回東大100年史編集委員会議事抄録案
- 18) B5版大学ノート:100年史編集委員会 とあるが、記載は8ページほど
- 19) 写真ネガ 天文台記念式(1966年10月29日:撮影者:香西)白黒36枚撮り
- 20) さくらカラーネガ:布川銀次郎事務長宛になっている。岡山の36インチ、74インチ、プレハブ小屋の写真がある。
- 21) 写真袋:36枚入っている、74インチ関係:19枚、36インチ関係:4枚、航空写真:7枚、水島の明かり:4枚、本館その他:3枚(昭和38年3月22日の日付)
- 22) 26インチドーム航空写真(カラー)
- 23) 新本館航空写真(カラー)2枚
- 24) ボイラー(管理棟地下)火入れ式写真4枚:ひどくピントが甘い

- 25) スクラップブック状の綴じられた「東京天文台機構改変に関する資料」1冊
内容：昭和23年度予算要求案（昭和22年6月10日） 天 第261号 控え
東京天文台機構改変 内容説明書
東京天文台機構改変に伴う本官数調、嘱託雇員数調、各部門の研究内容、職員配置予定表、東京天文台概要、東京天文台文課規定
- 26) 16mm映画フィルム「たのしい科学 時をはかる」岩波映画
- 27) 東京大学の百年 1877-1977 冊子、箱入り1冊、合計2冊
- 28) 岡山天体物理観測所建設前、建設中のアルバム、主として鴨方町、金光町の写真
- 29) 第18回天体力学研究会記念写真他2枚、昭和60年1gatsu29、30日、近畿大学理工学部会議室
- 30) 古い写真32枚の袋
1. 26インチ関係：4枚
 2. 寺尾寿：2枚
 3. 早乙女台長：4枚
 4. 20cm望遠鏡：1枚
 5. ブラッシャー関係：2枚
 6. ゴーチエ子午環関係：3枚
 7. 旧本館関係：2枚
 8. 麻布の天文台：1枚
 9. その他：天文台正門、タワーシーロスタット、電波望遠鏡他10枚
- 31) スライドの空き箱

今回は、リストの作成だけであるが、文書類、写真類はデジタルデータとして保存したい。しかし、一番きちんと残るのは紙になったデータであることを身にしみて感じてもらう。